

ご挨拶

このたび、神戸町五鳳記念美術館・名誉館長の任を拝命いたしました日比野博鳳と申します。

わたくしは日比野五鳳の孫にあたりますが、五鳳同様文化功労者で日本芸術院会員であった父・日比野光鳳が本年8月23日に入寂したことより、光鳳が担当させていただいた名誉館長のお役目を引き継ぐよう、町より委託を受けました。ありがたいお申し出で、誠心誠意がんばって参りたいと思います。どうぞよろしくお願い申し上げます。



来年令和6年5月に同館は開館40年を迎えることとなります。わたくしは、開館の昭和59年はまだ学生生活の延長線上の時期であり、まだ五鳳作品のなんたるかはもちろんのこと、書芸術の概略すら語れない時でありましたが、当時の高崎町長さまや多くの関係の方々のご尽力で完成した真新しい美術館が、とても誇らしく思えたことでした。

それから長い時間が経ちましたが、この美術館には一定数の固定の五鳳ファンを含めお越しになるほとんどすべての方々に感動を与え続けることが出来ております。

五鳳の書は神戸町の空気の中で見る時、一番違和感なく見えるように思えます。そして、この神戸町日比野五鳳記念美術館が、今後も書芸術を志すすべての方々の永遠の聖地であり続けるためにも、展示の工夫をこらすなど、さらに皆さんに寄り添った美術館でありたいと思います。

皆様にはなにとぞ今後ともこの神戸町日比野五鳳記念美術館をごひいきにさせていただきたく、そして、神戸町の誇りとして温かく見守っていただきますよう、心よりお願い申し上げます。

令和5年9月

日比野 博鳳

【日比野博鳳館長 略歴】

1960年京都市生まれ。同志社大学文学部哲学科卒業。日展会員。

読売書法会常任理事。日本書芸院常務理事。水穂会会長。花園大学文学部教授。